

高橋政代プロジェクトリーダーが Ogawa-Yamanaka Stem Cell Prize を受賞

2015 年 9 月 10 日

理研 CDB の高橋政代プロジェクトリーダー（網膜再生医療研究開発プロジェクト）が、米 Gladstone Institutes から第 1 回の Ogawa-Yamanaka Stem Cell Prize を受賞することが決まった。世界で初めて iPS 細胞を臨床に応用し、この分野の先駆的役割を果たしたことが受賞理由となった。高橋リーダーは、先端医療振興財団および神戸市立中央市民病院と連携し、滲出型加齢黄斑変性を対象に iPS 細胞を用いた臨床研究を進め、昨年 9 月に第一症例目の移植を行なった。高橋リーダーは 9 日、「栄えある第 1 回目の受賞者となることを大変うれしく光栄に思っております。成功の確信を持って臨んだ iPS 細胞初の臨床応用ですが、その結果だけでも十分な満足を得ています。その上にいただいた過分なこの喜びは、プロジェクトを応援してくれた多くの方々と分かち合いたいと思います」とコメントした。



高橋政代プロジェクトリーダー

同賞は、米の実業家で生物医学分野の研究を支援してきた Hiro Ogawa 氏からの寄附によって設立され、iPS 細胞の開発で 2012 年ノーベル賞を受賞した山中伸弥京都大学教授・Gladstone Institutes Senior Investigator の功績を記念したもの。細胞リプログラミングの技術を発展させ、再生医療の進展に寄与した研究者に授与される。

山中伸弥教授は今回の授与について、「iPS 細胞の発見からたった 8 年でヒトへの応用に辿り着いたことを非常に嬉しく思っています」とコメントしている*。また、Boston Children's Hospital Stem Cell Transplantation Program の George Daley 教授は、「様々な制約や困難を乗り越えてヒトへの初の応用を実現し、私たち全ての幹細胞研究者に道を開き、iPS 細胞の可能性を認識させた」と評した*。Gladstone Institutes は、初の臨床応用として適切な慎重さをもってこの臨床研究を進めていることも評価している。

授与式は 9 月 16 日に Gladstone Institutes で行なわれる予定で、記念講演はインターネットでもライブ中継される。

* コメントは Gladstone Institutes のプレスリリースより引用。